

W3C Media Content Metadata Japanese CG 第7回会合 議事録

- 日時:2025 年 1 月 16 日 10:00~12:00 (オンライン開催)
- 出席者:
市川・丸山・鈴木(集英社)、下花・津田(ジオルテ)、新井・出葉(LG Japan Lab)、星野(ACCESS)、
西尾、田口(エム・データ)、出野(オムロンソフトウェア)、湯浅(J ストリーム)、 富倉(講談社)、
芦村(W3C)、藤井・遠藤・大亦(記)(NHK) (敬称略)

■前回議事録確認

承認

■相互運用事例のご紹介

【ジオルテ下花様からご紹介】

・イベントと TV 番組の同時検索

・イベントを検索できるアプリ「イベンティア」

地図でイベントを探せるサービス(2024 年 10 月から開始)

・イベントの検索と一緒に TV 番組の情報を掲載(広島エリアを重点的に取り組んでいる)

広島 TV 局と連携して、年末年始の特番情報を集めて、イベントと一緒に表示

広島カープの番組がよく見られていた

地図と連動し、掲載情報を制御した

ジャンル(初詣／特番など)と日付の組合せで表示

・イベントと TV 番組を一緒に出すということに対して効果検証をした

TV 番組の情報がある方がイベンティアを使う上でも効果的だと考えている

・手間がかかるということもありフォーマットは指定せず、TV 局から情報をいただいた

TV 局は協力的に賛同いただいた

・今回、イベントと TV のデータ形式は同じ形で登録したが、社内では別のデータ形式の方が

よいという意見があり、対応を進めている

・番組情報の共通フォーマットがあった方が助かる

・ギリギリにならないと番組情報が出てこない。もっと早く情報を頂けた方が助かる

・権利の関係で、キー局の情報を集めることに苦労した

出してよい情報が事前に整理されていた方が助かった

- ・広島エリア以外も含めて全国展開していきたいと考えている

【質疑応答】

- ・(NHK 大亦)放送局の立場としては、番組データがイベントの情報と一緒に使われるとデータが有効に使われる

広島のみ放からデータを集めたということだが、各局でデータの形式は違っていたか？

苦労したことは？

⇒フォーマットが無かった。メールやワードで情報をいただき、ジョルテ側でフォーマットに整理した。

民法はアナログで時間がかかりそうだったのでジョルテ側で整理することを選択した

- ・(W3C 芦村)W3C の標準化の中でも標準化に苦労している。集める側と出す側で意見が違う。数項目あった方がテンプレートを充実させるのに役に立つ。

⇒次回からフォーマットを提示することにチャレンジしたい。

画像の有無で取り扱いが違う(許諾の取り方など)

- ・(NHK 遠藤)ジョルテからサンプルデータをいただいた。サンプルデータがあった方が検討が進みやすい。TV 局に埋めて欲しい項目はどんな項目だったか？

⇒イベントタイトル／日時／紹介文／HP の URL(ある場合)。場所は番組情報には無いので、代わりに放送局名を記載した

- ・(エム・データ田口)提供元の放送局の部門はどこだったか？

⇒制作サイドとは直接やり取りしていないが詳細は不明。

今回の取り組みを通じて番組と連動した取り組みができないかという相談を TV 局から受けている。その場合ある程度フォーマットが決まっていた方が良いと考えている。

【NHK 大亦様／遠藤様からご紹介】

(大亦様)

・これまで番組表などのフォーマットを用意していたが、放送局としては複数の OTT 事業者から番組を配信している中で課題が出てきた。(事業者や業界でメタデータ形式が異なりサービス間の連携が複雑化してきた)

- ・放送とネットそれぞれ配信するときに、配送路を意識せず同じ番組を視聴ができるように取り組みを進めている

- ・放送／ネットのメタデータを共有化・汎用化することを提案したい

- ・ユースケースとしては、

①放送／ネットを横断的に検索(TV 機器メーカーに提供)

②視覚障害者向けにアクセスビリティ向上(読み上げ機能)

③視聴履歴に応じたレコメンド

・名古屋の民放と協力して、放送を起点とした動画配信サービスを試作している

・ユーザーのメディア行動とリアル行動の導線を構築することが有効と考えている

==

(遠藤様)

・放送事業者から見たユースケースを複数検討した

放送実績情報を元に放送予定・配信情報を取得

・ユーザが既存の情報から放送／ネット配信を過去未来含めて検索できる

・BroadcastEvent や BroadcastService は準備できるが、他のメタデータは
ネットのデータ等から作る必要がある

・schema.org を使うためのサンプルと今回のデータ構造は一致している

【質疑応答】

・(ジョルテ下花)具体化していった情報が欲しいときに取得できる仕組みができればありがたい。

有料／無料、権利の関係などを含めて整理してもらいたい。

メタデータの細かいところも欲しいが、どの地域のどの放送局でいつどんな番組があるかという

最低限の情報だけでも自由にデータリンクできれば助かる。

⇒今回のプロトタイプについて、技術的な部分だと、ライセンスによってどこまでアクセスできるかをサーバー側で実装している。ビジネス上の運用などは並行して進める必要があるという見解。

それぞれの業界でルールや慣習が違うため、共有できる範囲からでも取り組みたい

・放送業界以外の業界からもメタデータ項目等の意見をいただきたい。

⇒(集英社鈴木)電子書籍でコンテンツを売るということは既にある程度やってきた。

マンガコンテンツと紐づいて、アニメと紐づけることにより一気通貫で見れるようになれば、ビジネスチャンスも拡がり、ユーザメリットも多いが、権利等のクリアすべき課題がある。

(集英社丸山)放送やイベントから作品への導線設計ができればメリットあり。

⇒(NHK 遠藤)schema.org ではebookのURLなどが定義されている。

パターンによってデータの紐づけ方が変わると考えている。色々試してみたい

・(富倉)メタデータの指標は各出版社がそれぞれ入れている。

電子書籍は Web の技術を使っているが、検索ができない一方、生成 AI が出てきたことにより

内容が学習されてしまうという問題も懸念している

⇒(NHK 遠藤)CG 活動を通じて、データの業界ごとの共通化を促進していきたい。生成 AI に関する懸念について、本 CG 全体に対して重要だと理解した。出版業界における検討の方が、動画が主な対象である放送業界よりも先行している期待する。CG の直接のスコップではないことを明確にしながら、何等かの外部のテクノロジーを使って生成 AI への対策もユースケースとして入れることなども必要かもしれない。別途相談したい

・(LG 新井)TV として情報をどう出すかが課題。「よく見られているもの」などの情報もあれば

良いかも

⇒(NHK 遠藤)メタデータを受け取った側の扱いもユースケースとして検討したい。

■CG レポート作成作業

■まとめ

・次回 CG 会合は 2/27(木)に開催